

2020年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年4月9日

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス
 コード番号 2927 URL <https://www.ams-life.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 浅山雄彦

問合せ先責任者 (役職名) 社長室長

(氏名) 土屋昭弘

TEL 054-281-5238

四半期報告書提出予定日 2020年4月14日

配当支払開始予定日

2020年5月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第2四半期の連結業績(2019年9月1日～2020年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第2四半期	7,892	5.3	565	5.5	567	8.1	352	29.8
2019年8月期第2四半期	8,338	8.0	598	15.9	617	22.6	502	48.2

(注) 包括利益 2020年8月期第2四半期 366百万円 (26.5%) 2019年8月期第2四半期 498百万円 (46.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第2四半期	25.09	
2019年8月期第2四半期	35.72	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第2四半期	18,248	10,265	56.3
2019年8月期	18,327	10,109	55.2

(参考) 自己資本 2020年8月期第2四半期 10,265百万円 2019年8月期 10,109百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期		10.00		15.00	25.00
2020年8月期		10.00			
2020年8月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年8月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日～2020年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	4.6	900	8.3	900	11.3	550	29.8	39.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期2Q	14,144,720 株	2019年8月期	14,144,720 株
期末自己株式数	2020年8月期2Q	81,012 株	2019年8月期	80,969 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年8月期2Q	14,063,746 株	2019年8月期2Q	14,063,751 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、第2四半期決算説明会(アナリスト向け)の開催を中止することいたしました。説明会資料(決算補足説明資料)については、4月中旬～下旬に当社ホームページおよびTD-netにて公開する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益が高水準を維持し、雇用・所得環境は継続的な改善がみられるなど、緩やかな回復基調が続きました。しかし、本年1月以降、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大しており、世界経済に大きな影響を及ぼすことが危惧されます。

当社グループが属する健康食品市場は、中国越境ECの規制強化などによりインバウンド消費が失速するなど軟調となったものの、近年は、主力ユーザーである中高年齢層に加え、引き締まった身体づくりや栄養補給を目的として、若年層における需要が続いております。

このような状況の下当社グループでは、美容商材の伸長により海外部門の売上高が前年同期の2倍となったものの、前年同期に好調であった乳酸菌・酵母関連商品の受注減少などによりOEM部門が減収となり、当第2四半期の連結売上高は7,892百万円（前年同期比5.3%減）、営業利益は565百万円（前年同期比5.5%減）、経常利益は567百万円（前年同期比8.1%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益の減少の影響も加わり、352百万円（前年同期比29.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(ヘルスケア事業)

・OEM部門

当社グループの主力事業である当部門は、ドラッグストア向けの定番商材が堅調を維持いたしました。一方、前年同期に好調であった乳酸菌・酵母関連商品の受注が減少したことなどにより、当部門の売上高は前年同期を下回りました。

機能性表示食品については、前期に続き届出のサポートを強化しており、累計49社126品目の届出が受理されております。

生産面においては、期初にハードカプセル充填機を1台増設し、増産による納期短縮を図っております。

・海外部門

アジア地域を主な取引先とする当部門は、既存顧客における受注が堅調に推移いたしました。その中でも、インドネシアの顧客において美容商材が大きく伸長いたしました。その結果、当部門の売上高は前年同期の2倍となりました。

・通信販売部門

機能性表示食品『ルテオリンGOLD』『魚のDHA・EPA GOLD』『ギャバGOLD』『イソフラボンGOLD』『ブラックジンジャーGOLD』の5品目を新発売するとともに、更なるラインアップ拡充に向け、新商品の開発に取り組みました。また、定番人気商品『薬用アミノ酸シャンプー爽快柑』などを商材とした記事広告などの新聞広告投下により、新規顧客の獲得が順調に推移したほか、同シリーズの受注が伸長いたしました。しかしながら、主力商品の一つである『葉酸サプリ』の受注が減少したことなどにより、当部門の売上高を伸ばすまでには至りませんでした。

・卸販売部門

販路拡大及び販売強化を目的として積極的に展示会や販売会へ出展いたしました。機能性表示食品『菊の花（ルテオリン）プレミアム』『GABAプレミアム』『ブラックジンジャープレミアム』『DHA・EPAプレミアム』の4品目を新発売し、既存の機能性表示食品と合わせて全7品目の営業活動を強化いたしました。主力商品の“華舞の食べるコラーゲン”や“ハートフルシリーズ”などが好調に推移いたしました。しかしながら、“miteteシリーズ”などが苦戦したことにより、当部門の売上高は前年同期を下回りました。

・店舗販売部門

期初に人気商品『ラ・ヴィ・プラセンタ』のパッケージをリニューアルし、販売を強化したことにより、同商品が好調な売れ行きとなりました。また、前期に引き続き、百貨店主催の大型催事に出席したほか、セミナーや相談会などを積極的に実施いたしました。その結果、既存店ベースでは前年同期の売上高を上回ったものの、店舗数の減少による減収が影響し、当部門の売上高は前年同期並みとなりました。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高7,210百万円（前年同期比6.2%減）となったものの、粗利益率の改善に加え、広告宣伝費などの節減効果により、営業利益860百万円（前年同期比4.2%増）（全社費用調整前）となりました。

(医薬品事業)

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品につきましては、医療用ジェネリック医薬品である『ピムロ顆粒』が順調に売上を伸ばしました。また、『シルデナフィル錠』（勃起改善薬）、『フィナステリド錠』（AGA治療薬）につきましても、重点販売商品として営業を強化したことが奏功し、売上拡大に繋がりました。

一般用医薬品につきましては、医薬品のインターネット販売が解禁され5年が経過し、漢方薬のPB受注が増加いたしました。

以上の結果、医薬品事業の業績は、売上高が682百万円（前年同期比5.4%増）、営業損失7百万円（前年同期は26百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ72百万円減少し、9,556百万円となりました。この減少要因は主として、原材料及び貯蔵品が54百万円増加した反面、流動資産のその他が67百万円、現金及び預金が47百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ5百万円減少し、8,692百万円となりました。この減少要因は主として、投資その他の資産のその他が57百万円、無形固定資産のその他が42百万円増加した反面、償却により有形固定資産全体で99百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ869百万円減少し、6,026百万円となりました。この減少要因は主として、返済期限が到来した1年以内返済予定の長期借入金の借り換えなどにより、短期借入金が717百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ636百万円増加し、1,957百万円となりました。この増加要因は主として、返済期限が到来した1年以内返済予定の長期借入金の借り換えにより、長期借入金が648百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ155百万円増加し、10,265百万円となりました。この増加要因は主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が141百万円増加したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ75百万円減少し、3,827百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は537百万円（前年同期244百万円の収入）となりました。

これは主として、法人税等の支払額209百万円、たな卸資産の増加額91百万円などにより資金が減少した反面、税金等調整前四半期純利益538百万円、減価償却費246百万円などにより資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は290百万円（前年同期58百万円の支出）となりました。

これは主として、有形及び無形固定資産の取得による支出194百万円、投資有価証券の取得による支出105百万円などにより資金が減少したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は327百万円（前年同期289百万円の支出）となりました。

これは主として、長期借入れによる収入700百万円より資金が増加した反面、長期借入金の返済による支出768百万円、配当金の支払額209百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2019年10月10日に公表の2020年8月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,437,201	4,390,067
受取手形及び売掛金	2,163,999	2,138,695
商品及び製品	1,088,030	1,087,721
仕掛品	819,215	856,631
原材料及び貯蔵品	916,063	970,457
その他	236,960	169,628
貸倒引当金	△31,920	△56,418
流動資産合計	9,629,550	9,556,784
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,853,907	2,792,497
土地	3,895,432	3,895,432
その他(純額)	1,107,052	1,069,265
有形固定資産合計	7,856,393	7,757,195
無形固定資産		
のれん	1,020	510
その他	147,596	190,286
無形固定資産合計	148,617	190,797
投資その他の資産		
その他	714,083	771,733
貸倒引当金	△21,563	△27,558
投資その他の資産合計	692,520	744,174
固定資産合計	8,697,530	8,692,167
資産合計	18,327,080	18,248,951
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,814,273	1,791,921
短期借入金	3,593,459	2,876,323
未払法人税等	245,855	219,736
賞与引当金	171,000	170,000
ポイント引当金	19,137	19,218
その他	1,052,474	949,059
流動負債合計	6,896,200	6,026,257
固定負債		
長期借入金	485,802	1,134,064
役員退職慰労引当金	180,858	189,055
退職給付に係る負債	425,693	442,770
負ののれん	1,126	844
その他	227,552	190,707
固定負債合計	1,321,033	1,957,443
負債合計	8,217,233	7,983,701

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,131,839	2,131,839
資本剰余金	2,195,880	2,195,880
利益剰余金	5,913,891	6,055,734
自己株式	△59,284	△59,314
株主資本合計	10,182,327	10,324,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△67,431	△58,531
為替換算調整勘定	△5,048	△358
その他の包括利益累計額合計	△72,479	△58,890
純資産合計	10,109,847	10,265,250
負債純資産合計	18,327,080	18,248,951

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)
売上高	8,338,164	7,892,851
売上原価	6,012,459	5,572,711
売上総利益	2,325,705	2,320,139
販売費及び一般管理費	1,727,209	1,754,860
営業利益	598,495	565,279
営業外収益		
受取利息	36	1,673
受取配当金	6,619	5,967
投資有価証券売却益	19,311	578
受取賃貸料	10,071	11,050
負ののれん償却額	281	281
その他	7,821	6,649
営業外収益合計	44,142	26,200
営業外費用		
支払利息	18,773	16,839
投資有価証券売却損	—	472
その他	5,953	6,479
営業外費用合計	24,727	23,791
経常利益	617,909	567,688
特別利益		
固定資産売却益	95,839	175
特別利益合計	95,839	175
特別損失		
固定資産除却損	9,964	6,957
投資有価証券評価損	6,485	22,344
特別損失合計	16,449	29,301
税金等調整前四半期純利益	697,299	538,561
法人税、住民税及び事業税	187,554	186,779
法人税等調整額	7,381	△1,016
法人税等合計	194,936	185,762
四半期純利益	502,363	352,799
親会社株主に帰属する四半期純利益	502,363	352,799

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	502,363	352,799
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,964	8,900
為替換算調整勘定	—	4,689
その他の包括利益合計	△3,964	13,589
四半期包括利益	498,398	366,388
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	498,398	366,388
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	697,299	538,561
減価償却費	228,654	246,288
のれん償却額	228	228
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,800	△1,000
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△342	81
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,706	8,197
受取利息及び受取配当金	△6,656	△7,640
支払利息	18,773	16,839
固定資産売却損益(△は益)	△95,839	△175
固定資産除却損	9,964	6,957
投資有価証券評価損益(△は益)	6,485	22,344
売上債権の増減額(△は増加)	△239,243	25,303
たな卸資産の増減額(△は増加)	△76,755	△91,501
仕入債務の増減額(△は減少)	△114,322	△22,352
未払消費税等の増減額(△は減少)	27,993	△88,315
その他	△79,477	101,202
小計	386,269	755,018
利息及び配当金の受取額	6,641	7,618
利息の支払額	△18,580	△14,805
法人税等の支払額	△129,424	△209,984
営業活動によるキャッシュ・フロー	244,904	537,846
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△272,675	△194,704
有形及び無形固定資産の売却による収入	291,181	175
投資有価証券の取得による支出	△638,418	△105,654
投資有価証券の売却による収入	570,902	37,890
その他	△9,349	△27,818
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,359	△290,110
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	210,000	—
長期借入れによる収入	—	700,000
長期借入金の返済による支出	△252,174	△768,874
社債の償還による支出	△60,000	—
配当金の支払額	△140,024	△209,815
その他	△47,503	△48,934
財務活動によるキャッシュ・フロー	△289,701	△327,623
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	4,753
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△103,156	△75,134
現金及び現金同等物の期首残高	3,524,507	3,902,201
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,421,350	3,827,067

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	7,690,762	647,402	8,338,164
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	7,690,762	647,402	8,338,164
セグメント利益又は損失(△)	825,674	△26,248	799,425

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	799,425
全社費用(注)	△200,930
四半期連結損益計算書の営業利益	598,495

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	7,210,463	682,387	7,892,851
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	7,210,463	682,387	7,892,851
セグメント利益又は損失(△)	860,161	△7,772	852,388

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	852,388
全社費用(注)	△287,109
四半期連結損益計算書の営業利益	565,279

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。